



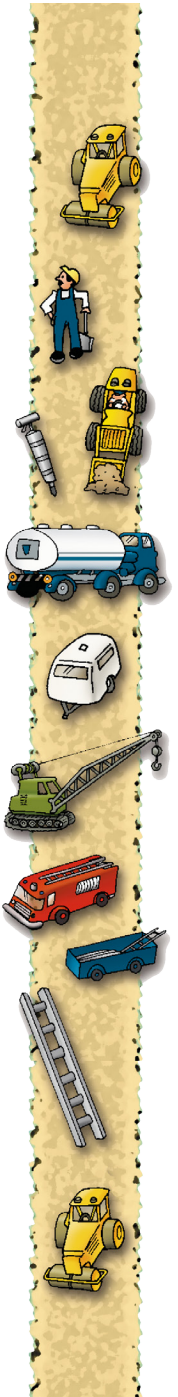
トリスタンは、出された^だ 卵^{たまご}と トーストと しばらくたての
オレンジジュースの 朝食^{ちようしよく}を、おいしそうにいただきました。
今日は 特別な^{きよう} 遠足^{とくべつ}、レンジャー・ロブ・デーです。
1か月に 1度、森林警備隊^{いっ げつ いち ど しんりんけい たい}の ロブさんが、トリスタンの
学校の 先生^{がっこう せんせい}と 子どもたちを、近くの 森^この ハイキングに
連れて行^つって くれるのです。そこで、ロブさんは 森^{もり}の
ことや、そこに 住^すんでいる 動物や、基本的な サバイバルの
スキルを 教^{おし}えて くれます。

「遠足^{えんそく}の 用意^{ようい}は いいかい？」 朝食^{ちようしよく}を 食^たべに 来^き
ジェイクおじいちゃんが トリスタんに たずねました。

トリスタンは うなずきました。「ロブ先生^{せんせい}は、川^{かわ}に
いる 魚^{さかな}の こと^{こと}を 教^{おし}えて くれるんだ。もしかしたら、
魚^{さかな}つりも 教^{おし}えて くれるかも。」

「そりゃ、楽しそうじゃ ないか。その他^{ほか}に、
ロブ先生^{せんせい}は どんな こと^{こと}を 教^{おし}えて くれるんだい？」と、
ジェイクおじいちゃんが たずねました。

「ぼくたちを チームに 分^わけて、その日^ひに 学^{まな}んだ
ことについての ゲームを したり するよ。だけど、
ゲームは 好^すきじゃ ないな。だって、ぼくが 入^{はい}る チームは
いつも 負^まけるんだもの。」



「それはくやしいね。だけど、勝つためには、チームが
いちがん きょうりよく たす あ
一丸となって協力し、助け合わないといけないことも
あるんだよ。」

「それって、どうやってやるの?」と、トリスタン。

「そうだな、それである お話を思い出したよ。・・・
がっこう い 学校へ行く とちゅうで、はな 話してあげよう。」



せっきよくし ごうけんせつがいしゃ 積極思考建設会社の チャリティ大会は、毎年、会社が
て きかく し きんあつ ひら
手がける チャリティ企画の 資金集めのために 開かれます。
けんせつようじゅうきしゃりよう さん か きょうそう
建設用重機車両は みんな 参加して、リレー競争を します。

まち ひと 町の 人たちの ほとんどが み 見に 来ます。監督さんは、
それが だれに たの とっても 楽しくて わくわくするような
イベントになるように、時間を かけて じ かん ちゅうい ぶか けいかく
注意深く 計画します。
ショーや、いんしよくぶつ 飲食物も たっぷり あります。そして、イベントの
ハイライトはいつも、きょうそう
リレー競争でした。

じゅうきしゃりよう ひら まえ いっしゅうかん
重機車両たちは、レースが 開かれる 前に 1 週間 かけて、
エンジンに チューニングし、ちょうし わる ぶ ぶん
調子の 悪い 部分は すべて
なお 直します。そして、たいかい ぜんじつ
大会の 前日には みんな、きれいに
せんしや まん
洗車して、ガスも 満タンに します。



チームは4つあり、それぞれのチームは3台の重機車両からな成っています。

「こんにちは、みなさん。お知らせがあります。」と、監督さんが言いました。

会場が静かに なりました。

「リレー競争が、あと30分で始まります。その前に、本日のレースに参加する4つのチームを紹介したいと思います。」

観客が歓声を上げました。

「Aチームは、コンクリートポンプ車、コンクリートミキサー車、それに、ダンプカーのディーです。」と、監督さん。

観客は、また歓声を上げました。

「Bチームは、ロードマーカ、ロードローラー、それに、クレーン車のクランクです。」

観客ははく手しました。

「Cチームは、ブレーカー、クラッシャー、それに、ローリーローダーです。」

今度もまた、はく手がわき起こりました。

「最後に、Dチーム。解体ボール、ミニショベル、それに、油圧ショベルのダグズです。」

またもや観客は歓声を上げました。



「わたしたちの チームより、Aチームの ほうが、^{かんせい}歓声が^{おお}大きかったわね。わたしたち、^ま負けちゃうわ。」 ローリーが^な泣き言を^い言いました。

「そんな こと、^い言うなよ。ただ がんばって、チームのために^{ぜんりよく}全力をつくせば いいんだ。」 いくぶん むっとした
ブレーカーが^い言いました。

「わたしは、あなたたちほど ^{はや}速く ないもの。」と、ローリー。

「^な泣き言を^い言うのは やめろよ、ローリー。エンジンを
ウォームアップして 来いよ。」 クラッシャーが ^こピシッと
^い言いました。

ローリーは ぶつぶつ ^{ごと}ひとり言を ^い言いながら、ガタゴトと
^で出て ^い行きました。

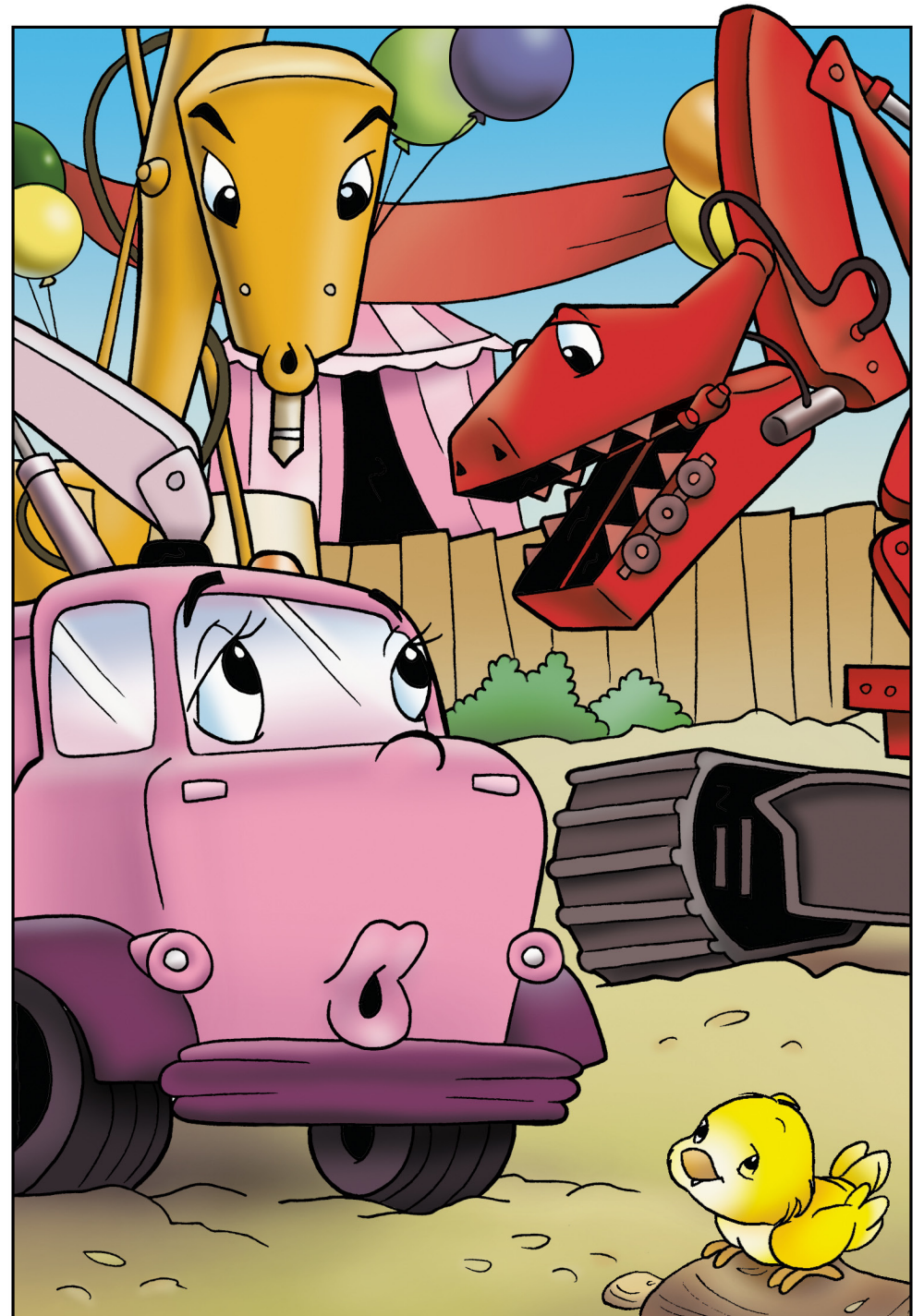
そのころ、コンクリートポンプ車と ^{しゃ}ミキサー車と ^{しゃ}ディーは
^{はず}外れの ほうで、^か勝つための ^{せんりやく}戦略を ^{はな}ヒソヒソと ^あ話し合っ
^ていました。

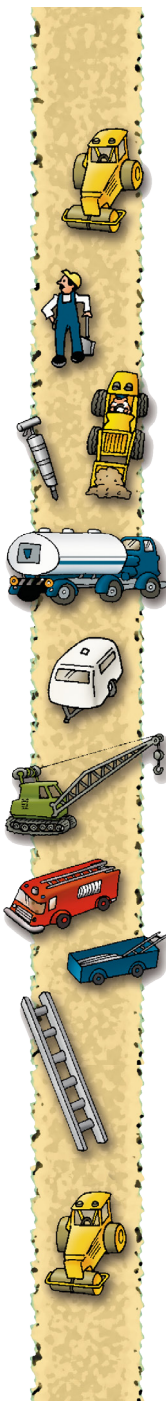
「目の前に ^めじゃまが ^{はい}入って来たら、ちよいと ^{かえ}つき返せば
^{いい}のさ。おれたちは、タフなんだ。勝てるぜ！」と、^{しゃ}ミキサー車。

「そうだな！」 ^{しゃ}ディーと ^{こえ}ポンプ車が ^あ声を ^あ上げました。そして、
^{なんど}何度も ^{なんど}何度も、「おれたちの ^か勝ちさ！」と ^い言い続^{つづ}けました。

「わたし、どう？」 ^{ロードマーカー}ロードマーカーが、クランクと
^{まわ}ロードローラーの ^{まわ}周りをはね回りながら たずねました。

「そんなの、^{かんけい}関係ないんじゃない？ ^{ファッションショー}ファッションショーじゃ
ないんだし。これは、レースなんだ。できるだけ ^{はや}速く ^{はし}走^{もの}った 者が
^か勝ちさ。」と、クランク。





「わたしには、^{おお}大いに^{かんけい}関係あるの！」ロードマーカーは
ふきげんそうに^{こえ}声を^あ上げ、^いブンブンしながら^い行っていました。

^{かいたい}解体ボールと^{ミニショベル}ミニショベルと^{ダググス}ダググスも、レースに^{そな}備えて
いました。

「ただ、ベストをつくせばいいんだ。だれが^か勝つかは、
^{かんけい}関係ない。みんなが^{たの}楽しめればいいんだ。そうだろう？」と、
^{かいたい}解体ボールが^{ダググス}ダググスと^{ミニショベル}ミニショベルに^{はな}話していました。

「その^{とお}通りだね。」^{ダググス}ダググスと^{ミニショベル}ミニショベルが^{こた}答えました。

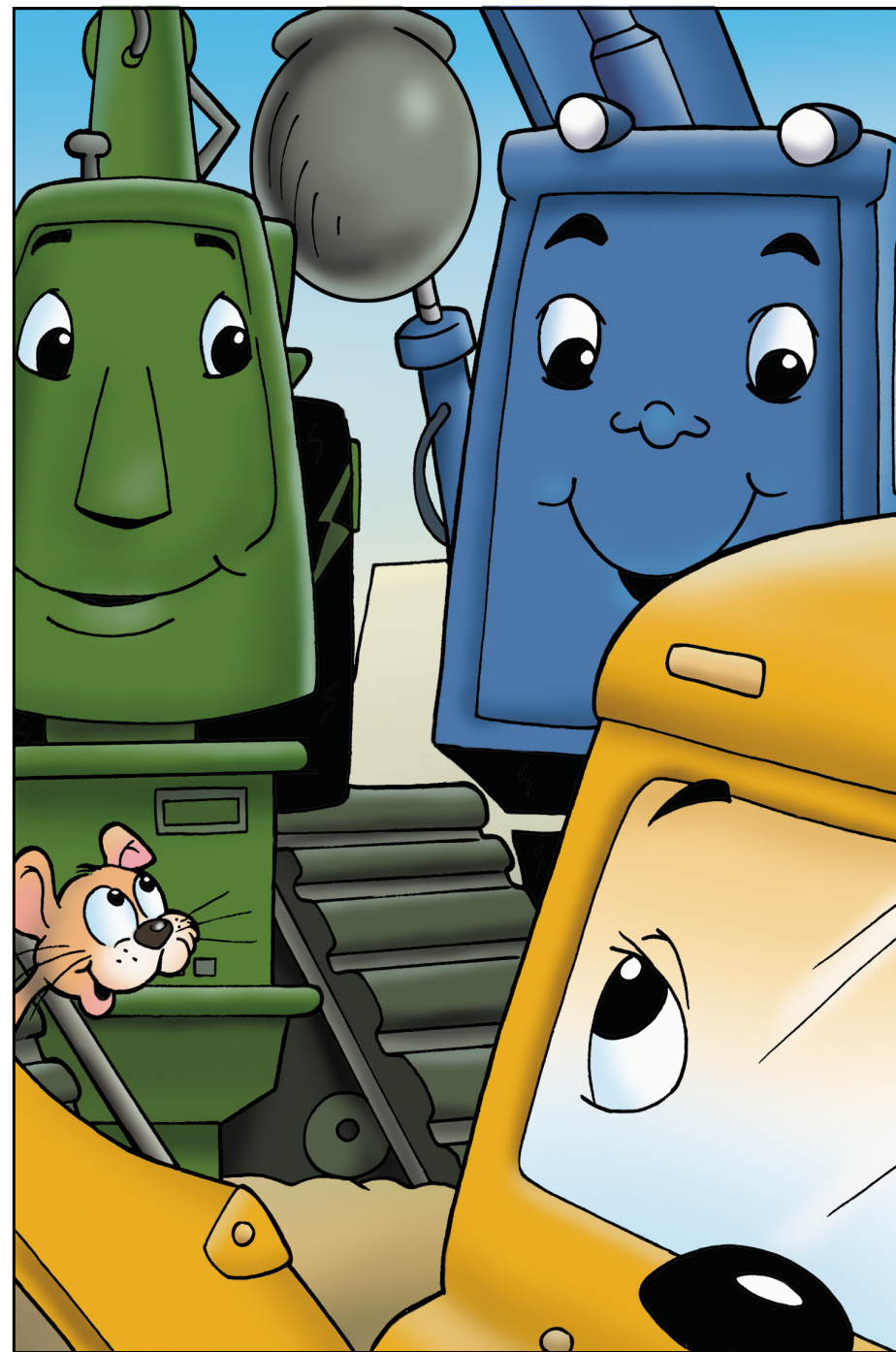
「ぼくは、そんなに^{はや}速く^{はし}走れないかもしれないな。」と、
ミニショベル。

「心配^{しんぱい}すんなって。君が^{きみ}ものすごく^{はや}速く^{はし}走ってるのを見たこと
あるぞ。君には^{きみ}すばやく^{うご}動く、^{あた}新しい^{しゃりん}車輪があるじゃないか。
ただ、^{たの}楽しめばいいさ。それが^{いちばん}一番^{たいせつ}大切なことなんだ。」と、
^{ダググス}ダググスが^い言いました。

Dチームは、いつでもレースを^{はじ}始める^{じゅんび}準備ができていました。
が、他のチームは、^{ほか}何だか^{なん}トラブルっている様子です。ローリーは
^な泣いているし、^{ミキサー車}ミキサー車と^{ブレーカー}ブレーカーは、だれが^か勝つかで
^い言い争^{あらそ}っています。ロードローラーは、ロードマーカーを
おこらせた^{はら}クランクに^た腹を立てていました。

「一体、どう^{いったい}なってるんだ？」^{かんとく}監督さんがさけびました。

「レースは、あと^{ふん}10分で^{はじ}始まるんだぞ。それなのに、君たちは
^{かいたい}ケンカかい。^{かいたい}解体ボール、この^{もんだい}問題を^{なん}何とかしてくれないかい？」



「^わ分かりました。」

「ありがとう。^{たよ}頼りにしているよ。」 そう ^い言うと
監督^{かんとく}さんは、レース^{じゆんぷ}の準備^{じゆんぷ}が ^{ととの}すべて ^{かくにん}整っているか確認^{かくにん}しに、
もどって ^い行きました。

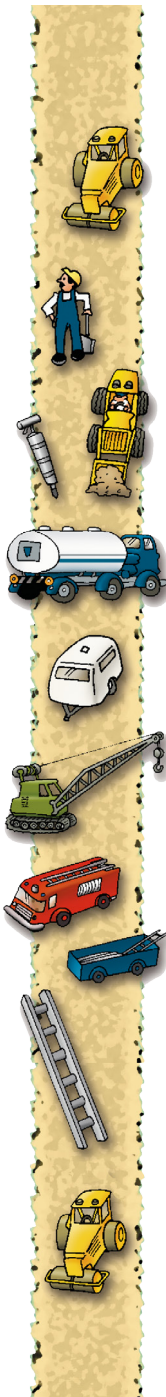
「今日^{きょう}は、レース^{さん}に ^か参加^{きぶん}する ^{とく}気分^{とく}じゃ ^{おな}ないね。特に、
ロードマーカー^{おな}と同じ ^いチーム^{あらそ}じゃな！」と、クランク。

すると、また ^{おお}大さわぎ^いになりました。あれや ^{あらそ}これやの
ことで、みんな、^い言い争^{あらそ}っています。

「みんな、^{しず}静かに！」と、解体^{かいたい}ボール^{かいたい}が ^{かんきやく}さけびました。
「レースは、あと ^{ふん}5分^{はじ}で ^{かんきやく}始まるんだ。観客^{かんきやく}は、^{おな}ずっと
たの^{たの}楽しみにしているんだぞ。ぼくたちが ^{おな}みんな、^{もくひよう}同じ ^{もくひよう}目標^{もくひよう}を
め^めざしている ^{おも}ことを ^だ思い出^{ことし}すんだ。今年 ^{ことし}ぼくたちが
あつ^{あつ}集めている ^{しきん}資金^{しきん}は、^{がっこう}学校^{あた}に ^{うんどうじよう}新しい ^{つく}運動場^{うんどうじよう}を作るためだ。
つまらない ^いことで ^{あらそ}言い争^{あらそ}ってる ^{ばあい}場合^{ばあい}じゃ ^いない。ぼくたちは、
チーム^{きようりよく}なんだ。協力^{きようりよく}しないと。だれが ^か勝^{かんけい}つかは、^{かんけい}関係^{かんけい}ない。
ただ、^{たの}楽しめば ^{たの}いいんだよ。」

「君^{きみ}の ^い言う ^{とお}通りだ。ぼくは、この ^{さん}レース^{さん}に ^か参加^かしたい。
いま ^{いま}今の ^かチーム^かで ^かオッケー^かだよ。勝^かてなくても、^いとにかく
楽しもう。」と、クラッシャー^いが ^い言いました。

ほか ^{じゅうき}他の ^{じゅうき}重機^{じゅうき}たちも ^いみんな、^いうなず^いきました。そして、
おたがい ^{どうし}同士^{どうし}、あやまりました。



「積極思考建設会社、ならんで。」^{せっきょくし こうけんせつがいしゃ} 監督さんが^{かんとく} 拡声器^{かくせい き}で
声^{こえ}を^あ上げました。「今から^{いま} レースが^{はじ}始まります。」

各チームがそれぞれ^{かく} ならんで^い 位置^ちに^つ 着きました。あとは、
監督さんが^{かんとく} スタートの^{あいず} 合図^だを出^だすばかりです。

「位置^いに^ち 着いて^つ・・・用意^{ようい}・・・ドン！」

みんな、ダッシュしました。

観客は^{かんきゃく} 歓声^{かんせい}を^あ上げました。見^みている^{じゅうき} 重機^じたちも、自^じ分の^{ぶん}
チー^ちムを^おん^んしました。監督さん^{かんとく}も、声^{せい}えん^{えん}を^おく^く送^くっています。

最後^{さいご}の^{いっしゅう} 一周^{はし}を^{はし} 走^{はし}っている^{はし} アンカー^{はし}は、ミニショベルと、
ロードローラーと、クランクと、コンクリートポンプ車^{しや}です。
みんな、最^{さい}高^{こう}速^{そく}度^どで^{さいご} 最^{さい}後^ごの^{いっしゅう} 一周^{はし}を^{はし} 走^{はし}りました。

「フー！ フー！」^{かんきゃく} 観客^{かんせい}は^おく^く 声^{せい}えん^{えん}を^おく^く 送^くります。

ゴールが^み 見^みえて^{かんきゃく} 来^きました。観客^{かんせい}の^{かんせい} 歓声^{かんせい}は、よりいっそう
大^{おお}きく^お なる^くります。

「あと一息^{ひといき}だ、がんばれ！」^{かいたい} 解体^{かい}ボ^{たい}ール^るが^{かんきゃく} ミニショベル^{かんせい}に^{かんせい}
かけ^か声^{こえ}を^かけました。

ミニショベルはさらに^か 加^か速^{そく}し、最^{さい}初^{しよ}に^{しよ} ゴール^{しよ}イン^{しよ}しました。
他^{ほか}の^{だい} 3台^{ちやうご}も、その^{つづ} 直^{つづ}後^{つづ}に^{つづ} 続^{つづ}きました。

「積極思考建設車^{せっきょくし こうけんせつしやりやう}両^{りやう}たち、よく^{かんとく} やった！」^{かんとく} 監督^{かん}さん^{とく}は
大^{おお}声^{こえ}を^あ上げました。

^{かんきゃく} 観客^{かん}は^{かん} みんな、はく手^{しゅ}かっさい^{しゅ}しました。



「あ～、楽しかった。このレースに参加できて、よかったよ。
ぼくたちのチームは勝たなかったけど、楽しい時間だった。」と、
クランクが言いました。

他のみんなも、うなずきました。

「これは、お祝いをしないかね。今日は、今までで最高の
レースだった。みんなの協力と参加を感謝するよ。」と、
監督さんがみんなに言いました。



その日の夕食の席で、トリスタンはうれしそうに、
遠足の冒険話を両親とジェイクおじいちゃんに話しました。

「ぼくたち、3つのチームに分かれたんだ。トラウト・
トレッカーズと、マウンテン・マレットと、スティックルボックスって
いうの。面白いロブ先生が、魚の名前をチームに付けたんだよ。
ぼくのチームは、スティックルボックス。」

「ずいぶん楽しんできたようだね。」と、ジェイクおじいちゃん。

「うん。今朝おじいちゃんが話してくれた話を、友だちにも
してあげたんだ。みんな、その話がすごく好きだったよ。それで、
ぼくたちのチームは協力して、魚や川について、たくさん
学んだんだ。ゲームもしたよ。ぼくたちのチームは全部の
ゲームに勝てたわけじゃないけど、いくつかは勝てたんだ。
それに、楽しかったよ。」

教訓：チームで協力してやることを学ぼう。そのほうが、
ずっと楽しいことが分かるよ！

